# 令和３年度（補正予算）

# 関係人口創出・拡大のための対流促進事業
# （中間支援組織の提案型モデル事業）

# 事業の実施結果
# （概要）

| | |
|---|---|
| 団体名 | オムロンソーシアルソリューションズ株式会社 |
| 事業名 | 多拠点生活をアップデート！住民と関係人口の継続的なつながりを創出・拡大する共生プラットフォーム事業 |

- 地域内の担い手不足が深刻化するなか、”関わりしろ”を意図的に創り、継続的な地域との関わりを構築するため、地方の多拠点生活者を対象として住民送迎移動マッチングプラットフォーム「meemo」を「地域資源を活用した体験プログラム」と連携して提供し、関係人口の創出に取り組んだ。

## 主な活動内容

### １．地域の”関わりしろ”の探索（熱海市・舞鶴市）

- 地元住民と地域の困りごとを議論するミーティングを開催した。
- 農作物収穫や通学路の草刈り、空き家の管理等の地域課題が掘り起こされた。地元特有野菜の収穫体験や「子縁」を軸にした関わりしろ創りは関係人口との相性が良かった。

### ２．住民送迎移動サービス「meemo」の実施（熱海市）

- 二地域居住者やワーケーション参加者にmeemoを提供した。
- 外出機会を見いだせていなかった関係人口が住民ドライバーの送迎で街を移動することにより、新たな街の魅力発見につながった。

### ３．地域体験プログラムとの連携（熱海市）

- 期間中に開催された地域体験プログラムと連携し、プログラム参加者にmeemoを周知することで、関係人口の移動ニーズ把握と、サービス改善ポイントの検証を行なった。

## 主な成果

### １．参加者や地域の声

- 参加者（関係人口）：「住民ドライバーのおもてなしが良く、地元の美味しいレストランやおすすめスポットを教えてもらえて、より熱海が好きになった。次回は自分が熱海の課題を解決しに来たい。」
- 地域住民：「別荘居住者やワーケーションで熱海に来る人と接する機会はほとんどなく、楽しい経験ができた。自分の街に引き続き来てもらえるように関係を継続していきたい。」

### ２．事業を通じて得られた気づきや知見

- 二地域居住者、ワーケーション参加者、イベント参加者等の関係人口の関わり方の違いによる移動ニーズと実証実験を踏まえたサービス改善ポイントが明らかになった。
- meemoを地域で実装する際には、地域に根ざした「まちづくり団体」との連携が必要であり、本事業を通じてまちづくり団体との連携方法・役割分担等のポイントを明らかにした。



meemoを使う関係人口とドライバー



地域体験プログラム参加者の様子



地元の課題を議論、草刈り実施の様子



「ありがとう」をデジタル化したコイン「mee」

## 事業実施体制・関係機関

### 熱海市

| | |
|---|---|
| オムロンソーシアル ソリューションズ | PJ主体者・ヒアリング実施 |
| 株式会社machimori | 関係者調整・コンタクトセンタ |
| 株式会社アドレス | 自社会員への広報・会員獲得 ヒアリング実施 |
| 有限会社小形タクシー | 住民ドライバーの審査・講習会・事故の一次対応 |
| あいおいニッセイ同和損保 | 自家用運送の保険提供 |
| 熱海市 | オブザーバー |

### 舞鶴市

| | |
|---|---|
| オムロンソーシアル ソリューションズ | PJ主体者・ヒアリング実施 |
| 舞鶴市 （企画政策課・地域づくり支援課） | 関係者調整・協議参加 |
| 舞鶴市　高野区区長会 | 住民側の調整・ヒアリング実施 |
| 舞鶴市　住民 | ミーティングへの参加 |

## グリーン分野に関する取組状況

- トヨタのCpodを活用。
- 熱海において、住民ドライバー候補が自家用車を持たないケースも多くみられるため meemo送迎車として活用することで、待機ドライバー候補増につながるか検証を実施。
- EVを活用してみることで、地域におけるEVのメリット、デメリットを把握と、商店街内でEVをシェアリングする場合の仕組み・フローの構築のポイントが明らかになった。
- Co2排出量の削減に貢献しつつ、非常時には蓄電池としても活用することができ、交通×レジリエントの観点での可能性も見えた。



## 次年度以降の事業展開

**舞鶴市**

- 地域側の課題・関わりしろの洗い出しとターゲット利用者の明確化ができた。
- 地域側の参加者の拡大と継続的な実施を見据えて地域に根差した協議会を設立していく。
- また、関係人口の参画を創出するためにまちを訪れる副業人材やその他関係人口を対象に関係人口と舞鶴の関わりしろマッチングイベント（サステナブルツーリズムなど）を実施していく。

**熱海市**

- 関係人口が地域に訪問し、住民ドライバーと送迎中に交流をすることで住民ドライバー・関係人口双方に新しい体験と情緒的価値が生み出されることがわかった。
- 次年度以降もより関係人口の参画が増えていくように、関係人口側の得意領域を見える化し、かつ住民側の困りごとを見える化し、マッチングできる共生PF構想を練っていく。

| | 費目 | R5 | R6 | R7 |
|---|---|---|---|---|
| 支出 | システム経費<br>（通信費・クラウド利用料等） | 1,560,000円 | 2,636,000円 | 3,770,000円 |
| | 人件費<br>（社内人件費、委託費含） | 6,500,000円 | 10,985,000円 | 15,709,000円 |
| 収入 | 自治体/会員システム利用料 | 7,200,000円 | 14,400,000円 | 21,600,000円 |
| 収支差額 | | ▲860,000円 | 779,000円 | 2,121,000円 |
| 導入自治体数 | | 2 | 4 | 6 |

**舞鶴市（現時点案）**

- 3月：報告書とりまとめ、関係者報告会の実施
- 4～９月：協議会立ち上げ準備
- 10～11月：マッチングイベント企画
- 12～1月：マッチングイベント実施
- 2～３月：振り返り、継続実施有無議論

**熱海市（現時点案）**

- 3月：報告書とりまとめ、関係者報告会の実施
- 4～6月：meemo有償化可否の議論実施<br>マッチング共生PF構想検討
- 7～9月：共生PF実施エリア、サービス企画
- 10月：マッチング参加者募集
- 11～2月：共生PFサービス提供
- ３月：振り返り、継続実施有無議論

## 自立・自走化にあたっての課題

**共生サービスの有償化**

- 現状無償提供のため、利用者側は利用しづらく、担い手確保も加速しないため、有償化が必須。

**担い手側のインセンティブ企画**

- お金儲けを求めていない担い手が多いため、金銭以外のインセンティブ企画が必須。

**横展開の加速と持続的なビジネスモデルのアップデート**

- 横展開できる/できない地域の特徴整理と関係者がオールwinになるビジネスモデルにアップデートが必要。